

ニカラグア定期報告（2021年12月）

【要旨】

内政・外交面では、9日にニカラグアが台湾との断交、および中国との国交再開を発表した。24日、日本政府は、COVAX ファシリティーを通じて、アストラゼネカ製ワクチン約50万回分を供与した。経済面では、2022年国家予算案が国会で可決された。

【主な出来事】

1 内政・外交

（1）中国-CELAC フォーラム等への参加

11月30日から12月3日にかけて、ニカラグア政府は中国-ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）フォーラムに参加した。

（2）台湾との断交と中国との国交再開

ア モンカダ外相の発表

9日、モンカダ外相は、外務省において記者会見を行い、ニカラグアが台湾と断交し、中国と国交を再開することを発表した。

イ ニカラグア・中国外相会談

10日、モンカダ外相は中国王毅外交部長とテレビ会談を行い、両国の外交関係に関する共同コミュニケを発表した。

ウ 共同コミュニケ署名

10日、天津を訪問中のラウレアノ投資振興顧問率いるニカラグア代表団は、王毅外交部長とテレビ会談を行ったほか、共同コミュニケ署名式に出席した（署名者は、ラウレアノ投資振興顧問及び馬朝旭外交部副部長）。

エ 台湾との協定の破棄

13日、大統領府はニカラグア国会に対し、自由貿易協定等、台湾との複数の協定を破棄する内容の大統領令案を提出した。

オ 中国中央広播電視総台（CMG）との協力覚書への署名

15日、ニカラグア政府は、CMGとのマナグア支局設置を含む、情報・メディア・報道協力に関する協力覚書に署名を行った。

カ 台湾が所有していた財産の中国への譲渡

27日、台湾が「大使館」を含む不動産等をカトリック教会に寄贈しようとしたところ、ニカラグア政府は「一つの中国原則」に基づいて、これら財産が中国に委譲されることになる旨通報した。

キ 中国大使館再開レセプションの開催

31日、中国は、マナグア市において、大使館再開レセプションを開催し、ラウレアノ投資振興顧問、モンカダ外相、アコスタ財務・公債大臣等が出席した。

(3) オルテガ大統領のキューバ訪問および ALBA-TCP 首脳会議出席

14日、オルテガ大統領はキューバを訪問し、ALBA-TCP 首脳会議に出席した。

(4) 新型コロナウイルスワクチン確保情報

ア 12日、中国政府供与のシノファーム製ワクチン20万回分が到着した。

イ 14日、COVAX ファシリティーを通じて、フランス政府供与のファイザー製ワクチン190万回分が到着した。

ウ 24日、中国政府供与のシノファーム製ワクチン80万回分が到着した。

エ 24日、COVAX ファシリティーを通じて日本政府供与のアストラゼネカ製ワクチン50万2550回分が到着した。

(5) 29日付市民監視団体の新型コロナウイルスに関する発表概要

ア 12月16～29日の期間に全国で45件の感染及び感染疑いが報告され、累計31,326名となった。

イ 上記の期間にコロナウイルスの感染疑いで死亡した人は4名報告された。累計死亡者数は5,970名となった。

(6) 22年1月4日付保健省(MINSA)の新型コロナウイルスに関する週間レポート

ア 12月28日から1月4日までの間に、保健省は39名のCOVID-19陽性であると診断されたニカラグア人に対して、責任をもって注意深いフォローアップを行った。また31名がフォローアップ期間を終了した。

イ パンデミックが始まってから今日までの間、保健省は合計13,589名に対し、責任をもって注意深いフォローアップを行った。

ウ この1週間の間に、COVID-19に起因する1名の死亡が確認された（累計死者数218名）。

エ 本日までに、13,332名のニカラグア人が回復した。

（7）CID-Gallup社による世論調査結果

ア 調査方法等

調査期間：2021年12月5～13日

調査対象：16歳以上の当国民1,000名

調査方法：電話・SNSを用いた方法

信頼度数：誤差範囲+/-3.1%

イ 調査結果

（ア） 11月7日の大統領選挙の投票をしたか。

した 58%

していない・その他 42%

（イ） どの候補（政党）に投票したか

ダニエル・オルテガ（サンディニスタ民族解放戦線：FSLN） 27%

ウォルター・エスピノサ（憲政自由党：PLC） 15%

ギジェルモ・オソルノ（ニカラグア・キリスト教の道：CCN） 11%

ヘルソン・グテーレス（協和のための同盟：APRE） 6%

マルセロ・モンテレイ（ニカラグア自由同盟：ALN） 3%

マウリシオ・オルエ（独立自由党：PLI） 3%

白票 7%

無効票 13%

その他 15%

（ウ） 選挙は合法であると思うか

そう思う 28%

そう思わない 66%

その他 6%

（エ） 選挙結果は信じられるものか

そう思う 27%

そう思わない 68%
その他 5%

(オ) 2022年1月10日からの新政権で、安定した政治、社会はもたらされると思うか

今より良くなる 22%
今より悪くなる 56%
同じ・その他 22%

(カ) 新政権で、繁栄と安全がもたらされると思うか

今より良くなる 22%
今より悪くなる 54%
同じ・その他 24%

(キ) オルテガ大統領は国に前向きな変化をもたらすか

そう思う・強くそう思う 24%
思わない・全く思わない 70%
その他 6%

(ク) オルテガ政権が受けた制裁について、どれに賛成か

オルテガが民主主義と人権を侵害した直接的な結果 67%
強大な国による国家主権に対する干渉行為 20%
その他 13%

(ケ) 支持政党 2021年10月 2021年12月

支持政党なし	67%	53%
サンディスタ民族解放戦線 (FSLN)	9%	14%
ニカラグア・キリスト教の道 (CCN)	1%	8%
自由のための市民たち (C×L)	5%	7%
独立自由党 (PLI)	3%	6%
憲政自由党 (PLC)	4%	4%
ニカラグア自由同盟 (ALN)	2%	2%
市民同盟 (Alianza Civica)	1%	2%
民主復興等 (PRD)	1%	1%
国民連合 (CN)	1%	1%
共和のための同盟 (APRE)	1%	0.4%

2 ニカラグアに関する海外情勢

(1) OAS 常設理事会国でのニカラグア情勢に関する議論

8日、OAS 常設理事会にて、賛成25カ国、反対1カ国、棄権8カ国でニカラグア情勢に関する決議が採択された。

(2) 国連人権理事会および欧州議会での動き

15日、国連人権理事会において、ニカラグア情勢に関するインタラクティブ・ダイアログが開催された。また同日、欧州議会において、11月の大統領選挙の正当性を認めないことを内容とするニカラグア情勢にかかる決議案が提出され、可決された。

3 経済

(1) 2022年国家予算案の可決

ア 11日、国会は、2022年予算案を可決した。歳入は昨年度予算案から名目上13.5%増の915億4250万コルドバ、歳出は918億220万コルドバと予測している。

イ また、同予算では、保健省に190億7485万コルドバ(21.5%)、教育省に210億1514万コルドバ(23%)、輸送・インフラ省に60億7440万コルドバが割り当てられている。

<主要経済指標>

	2019 年	2020 年	2021 年		
			9 月	10 月	11 月
インフレ率 (対前年同月)	0.7%	1.6%	3.49%	4.27%	5.72%
貿易収支 (百万ドル)	▲1,655.6	▲1,559.9	▲261.2	▲267.1	未発表
輸出 FOB (百万ドル)	2,696.8	2,852.0	255.2	266.5	未発表
輸入 FOB (百万ドル)	4,352.4	4,411.9	516.9	533.6	未発表
海外送金受取額 (百万ドル)	1,682.4	1,851.4	175.7	189.3	186.6
外貨準備高 (百万ドル/期末)	2,397.4	3,211.9	4,058.2	4,034.1	未発表

(出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁 (INIDE))

(了)